

令和5年2月7日

宮城県水産技術総合センター環境資源チーム

TEL:0225-24-0139

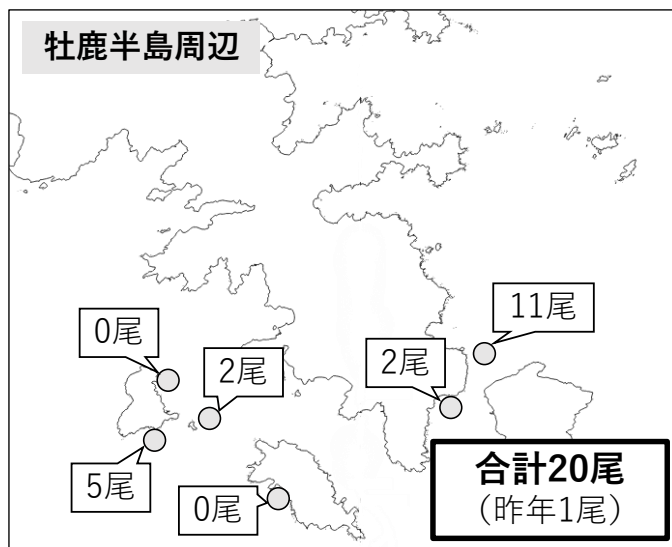
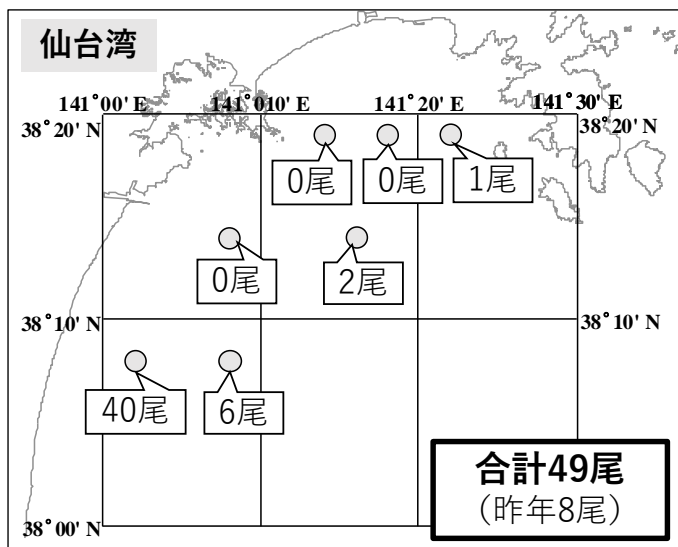
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>



- ・令和5年2月6日～7日に、仙台湾及び牡鹿半島周辺でイカナゴ仔稚魚調査を行いました。
- ・仙台湾で49尾、牡鹿半島周辺で20尾が採集されましたが、いずれも昨年度の調査結果と同様わずかであり、引き続き不漁年の水準となっています。
- ・黒潮系水が沿岸に波及している影響で、表面水温は平均9.8℃(7.8～11.3℃)と例年に比べ高くなっています(昨年平均7.9℃)。
- ・採集したイカナゴ仔稚魚の平均体長は9.5 mmで、例年に比べかなり大きくなっています(震災後の平均5.8 mm)。
- ・次回の調査は3月上旬を予定しています。

【地点ごとの採集尾数】

※調査方法：丸稚ネット表層5分間曳網

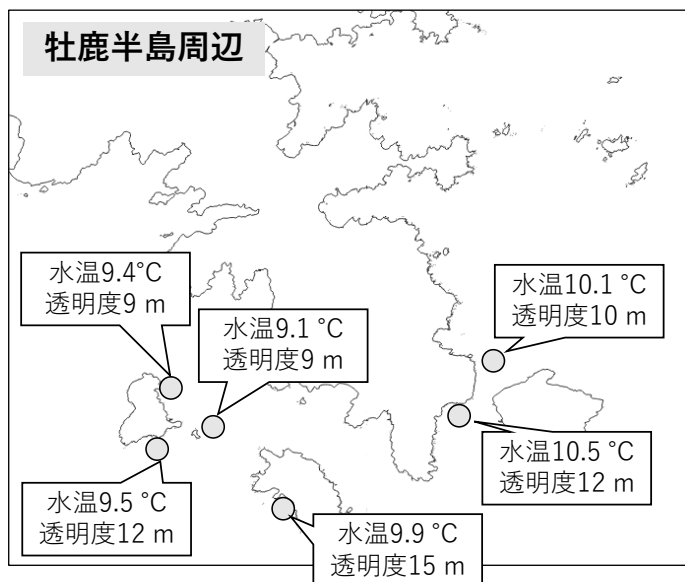
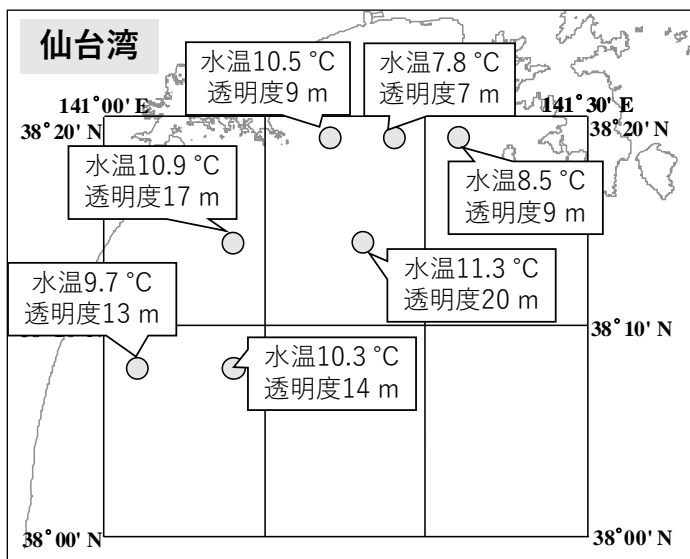


●イカナゴ仔稚魚の分布密度の推移

火光利用敷網漁獲量が激減した2019年以降を不漁年とすると、今回の調査結果は、過去4年の不漁年と同程度の水準となります（右図）。



●地点ごとの水温と透明度



●今後の海況について

イカナゴに良い影響を与えると考えられる親潮の南下はまだ確認されていません。今後の海況をこまめにチェックしていただくようお願いいたします。

海況情報はここらをチェック

気象庁
日別海面水温

海況予測システム
FRA-ROMSII
(水産研究・教育機構提供)

JAFIC会員サービス
(漁業者のみ、要会員登録)